

重点取組名	広域合併市における新たな営農システムの確立と担い手組織の育成
普及活動担当	山口県長門農林事務所農業部
主要な活動地域・対象農業者	広域合併後の長門市の農林行政機関、農協の地区農業支援センター及び各地区のモデル経営体（農業法人、集落営農組織等）
取組結果・成果 〈取組みのねらい〉	<p><b>1 「地区農業支援センター」機能の発揮</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○3地区（三隅、日置、油谷）に設置された支援センターでは、定期的に会合を開催し、集落営農の推進や水田農業振興に関する具体的な協議を行とともに、地域実践活動や農業者への働きかけを積極的に行った。</li> <li>○農業部はこの会議のメンバーとして、課題解決のための手法等についての提案を行うとともに、現地活動へも率先して対応した。</li> </ul> <p><b>2 モデル経営体（農業生産法人）の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○農事組合法人「三ヶ村」が8月に設立され、機械の共同利用、水稲作業の受委託、大豆やはなっこりー（本県開発のオリジナル野菜）の栽培等に取り組んだ。</li> <li>○また、支援センターや農業部等の働きかけにより、三隅地区において、法人設立に向けた取り組みが加速し、3地区は平成18年度設立を目指している。</li> <li>○既に設立された3法人については、法人の経営指導や水稲、大豆等の技術指導に加え、地域での担い手としての意識づけ、品目横断対策等への誘導等を積極的に行った。</li> </ul> <p><b>3 やまぐち型担い手組織の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○出し手と受け手組織が一体となった本県独自の「やまぐち型担い手組織」の育成のため、各地区の候補となる組織（集落）をリストアップし、支援センターと連携して働きかけを行った。</li> <li>○この結果、長門地区で新たに3つの担い手組織が設立されるとともに、油谷地区や日置地区では18年度設立を目指した取り組みが進んでいる。</li> </ul>
連携機関、協議会等	長門大津地区水田農業推進協議会、長門地域担い手育成総合支援協議会
取組の特徴や取組に際しての工夫	<p><b>1 「地区農業支援センター」機能の発揮</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○支援センターでは、農協各支所、市各総合支所経済課、農林事務所の担当者が地域の情報収集、調査・分析を行い、実態に即した対応策を協議して集落や農業者への働きかけを行っている。</li> <li>この支援センターが、組織づくりや産地づくりの相談窓口の役割を担っており、農林事務所農業部も各担当者が常に連携を取りながら、いろいろな助言や提案等を積極的に行っている。</li> </ul> <p><b>2 モデル経営体（農業生産法人）の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○支援センターの働きかけや農業者意欲の高まり等により、農業生産法人等を目指す組織が生まれつつある。これらの組織に対して、法人設立の手続きや営農計画の策定等の助言、事例提供、先進地視察等により積極的な支援を行っている。</li> <li>また、長門地域担い手育成総合支援協議会で、管内の農業者や集落を対象とした研修会（管内事例発表、先進事例の講演）等により広く啓発している。</li> <li>○こうした活動においては一律の手法やスケジュールでなく、地域の実態やリーダーの意欲、構成員の意識等に配慮し、組織の自発的な動きを重視している。</li> <li>○また、既存の農事組合法人等については、経営分析にも関わり、新たな視点での営農計画の策定を支援している。特に、水稲や大豆の栽培に加え、地域特産（スイカ、はなっこりー）の導入を積極的に勧めている。</li> </ul> <p><b>3 やまぐち型担い手組織の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○従来までの活動により、関係機関や農業者に「やまぐち型担い手組織」の必要性が認識されてきており、支援センターへの相談も増えつつある。</li> <li>○特に、出し手組織の育成は兼業農家、高齢農家の理解が不可欠であり、これらの農業者への働きかけに力を入れている。</li> <li>○支援センター会議で候補となる集団をリストアップし、地区の情報収集、働きかけの手法等の綿密な計画を策定した上で活動し、その結果についても繰り返し善後策を協議している。</li> </ul>
【参考】	